(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 26日

名古屋市長 様

提出者 〒457-0821

住 所 名古屋市南区弥次工町4丁目57

氏 名 株式会社 ヤマセイ

代表取締役 山田 育江

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 052-693-7737

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	ţ	見勿	の	名	称	株式会社・ヤマセイ
事	業	場	T)	所	在	地	名古屋市南区弥次ヱ町4丁目57番地
計		画		期		間	令和 6年 4月 1日~令和 7年 3月 31日
当該	亥事	業場	にま	さいて	現に	.行~	っている事業に関する事項
		1	事	業(	り種	類	07:職別工事業
		2	事	業の	り規	模	元請完成工事高:30,593万円
		3	従	業	員	数	23人
		連		廃棄	物の- 工程	-	建築物解体工事 ①がれき類➡再生処理業者に委託して、再生砕石として再資源化 ②木くず➡再生処理業者に委託して、チップとして再資源化 ③廃プラスチック類➡再生処理業者に委託して、 原料・燃料として再資源化 ④混合物➡再生処理業者に委託して、選別し再資源化

(日本産業規格 A列4番)

産業廃	棄物処理に係る管理体	本制に関する事項
	(管理体制図)	
	専務取締役	
	総務部	営業·工務部 各工事現場責任者
<b>本</b>	 棄物の排出の抑制に関	月-ナス 東 1万
座未廃:	<b>₹初♥フチテト፲</b> レ♥フチネルffi(⊂ぼ	【前年度(5年度)実績】 ※別氏参照
		産業廃棄物の種類
		排 出 量 t t
		(これまでに実施した取組)
	①現状	各工事現場のおいて、廃棄物の分別。
		【目標】 ※別紙参照
		産業廃棄物の種類
		排 出 量 t t
	②計画	(今後実施する予定の取組)
		各工事現場のおいて、できる限り廃棄物の分別をする。
<b>安</b>	 棄物の分別に関する§	<b>扩</b>
座未焼:		(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	① 理 44	各工事現場に、コンテナ・ t 袋を置き種類ごとに細かく分別する。
	①現状	
		<ul><li>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</li></ul>
		上記取り組みの継続実施。
	②計画	

自ら行う産業廃	棄物の再生利	用に関す	る事項				
		【前年度(	(5年度)	実績】	※別紙参照		
		産業原	<b>薬物の</b>	種類			
①現状			廃棄物の	)量		t	t
(1) 5) (1) (		(これまで	に実施	した取組)			
	4	特にありま	せん。				
		【目標】					
		産業原	<b>運棄物の</b>	種類			
②計画			生利用を 発棄物の			t	t
<b>少</b> 印画		(今後実施	する予算	定の取組)			
	4	特にありま	せん。				
自ら行う産業廃	棄物の中間処	理に関する	る事項				
		【前年度(	(5年度)	実績】	※別紙参照		
		産業原	<b>薬物の</b>	種類			
		産業	回収を行 廃棄物の	量		t	t
①現状		自ら中間の	処理によ 業廃棄物			t	t
(2) 71.1/1		(これまで					
	4	特にありま	せん。				
		【目標】					
			<b>薬物の</b>				
		産業	!回収を? 廃棄物の	量		t	t
②計画		自ら中間がする産	処理によ 業廃棄物			t	t
		(今後実施	する予算	定の取組)			
	4	寺にありま	せん。				

	り性果焼果物の埋立	処分又は海洋処分に関する事	項							
		【前年度(5年度)実績】	※別紙参照							
		産業廃棄物の種類								
	44,42	自ら埋立処分又は 海洋処分を行った 産業廃棄物の量	t	t						
	①現状	(これまでに実施した取組)	)							
		実施していない。								
		【目標】								
		産業廃棄物の種類								
		自ら埋立処分又は 海洋処分を行う 産業廃棄物の量	t	t						
	②計画	(今後実施する予定の取組)	)							
		今後も、実施する予定はない。								
産業廃	    棄物の処理の委託に	<u>l</u> 関する事項								
		【前年度(5年度)実績】	※別紙参照							
		   産業廃棄物の種類								
		全処理委託量	+	+						
			t	L						
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t						
I										
		再生利用業者への	+	t						
		再生利用業者への 処理委託量	t							
	①現状	再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量	t							
	①現状	再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への 処理委託量 認定熱回収業者以外の	t	t						
	①現状	再生利用業者への 処理 委託 量 認定熱回収業者への 処理 委託 量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t t	t						
	①現状	再生利用業者への 処理 委託 量 認定熱回収業者への 処理 委託 量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への	t t	t						
	①現状	再生利用業者への 処理 委託 量 認定熱回収業者への 処理 委託 量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t t	t						
	①現状	再生利用業者への 処理 委託 量 認定熱回収業者への 処理 委託 量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量 (これまでに実施した取組)	t t	t						
	①現状	再生利用業者への 処理 委託 量 認定熱回収業者への 処理 委託 量 認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量 (これまでに実施した取組)	t t	t						

## (第5面)

	【目標】 ※別紙参照		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	
	再生利用業者への処理 委託 量	t	
②計画	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	
<b>Ф</b> п ш	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量	t	
	(今後実施する予定の取組) 可能な限り、再利用業者への処理委 最終処分量の低減をはかる。	託を行い	
※事務処理欄			

## 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元 請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種 に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
  - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

	廃棄物の種類	がれき類	がれき類	がれき類	がれき類	がれき類	木くず	繊維くず	カ <sup>・</sup> ラス・コンクリー ト・陶磁器くず	カ <sup>・</sup> ラス・コンクリー ト・陶磁器くず	ガラス・コンクリー ト・陶磁器くず	カ <sup>・</sup> ラス・コンクリー ト・陶磁器くず	廃プラスチッ ク	混合物	混合物	紙くず	廃油
	名称(任意の名称を記入してくださ い)	コンクリートガラ	アスファルトガラ	その他がれき類	石	石綿含有		畳		廃石膏ボード	石綿含有	蛍光灯		安定型	管理型		
(1	排出量(t)	5,417.72	52.04	118.92	4	24.54	236.59	1.78746	31.48	89.28	2.34	0.1255	46.515	6.422	74.874	0.11	3.3
(2	② 自ら再生利用を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	O	0	0	0	0	0	0	0
3	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>(</b> E	) 自ら熱回収を行った量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ō	) 自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Œ	② 処理委託した全量(t)	5417.72	52.04	118.92	4	24.54	236.59	1.78746	31.48	89.28	2.34	0.1255	46.515	6.422	74.874	0.11	3.3
•	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	69	0	0	0	15.08	114.3	0.18	0	64.78	2.34	0.1255	22.4	0	7.098	0.11	0
Œ	② 再生利用業者への処理委託量(t)	5417.72	52.04	100.42	4	0	236.59	1.78746	4	89.28	0	0.1255	2.3	0	0	0.11	3.3
1	③ 認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Œ	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7334		1712012	·								
	廃棄物の種類	がれき類	がれき類	がれき類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	混合物	廃プラスチック	木くず	廃油
	名称(任意の名称を記入してください)	コンクリートガラ	アスファルトガラ	その他がれき類	石綿含有建材		廃石膏ボード				
1	排出量(t)	5,000	500	100	50	10	40	60	30	200	0
2	自ら再生利用を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(5)	自ら熱回収を行う量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	自らの中間処理による減量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	処理委託する全量(t)	5,000	500	100	50	10	40	60	30	200	0
11)	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	500	100	30	50	3	40	12	6	100	0
12)	再生利用業者への処理委託量(t)	5,000	500	80	0	1	40	6	3	200	0
13	認定熱回収業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14)	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0